

2023年1月6日

Honda の中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（本社：北京 総経理 井上勝史）は、2023年1月6日現地時間 14 時（日本時間：15 時）に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします

<ご参考>

中国のパワープロダクツ生産販売会社で 30 周年記念式典を開催

Honda の中国におけるパワープロダクツ生産販売現地法人である本田動力（中国）有限公司（以下、HPPC）は、2023年1月12日に創立30周年を迎えることを記念し、本日、式典を開催しました。



記念式典の様子

HPPC は、1993年1月に、前身となる二輪車生産販売合併会社「嘉陵-本田発動機有限公司」として設立され、2002年からはパワープロダクツの生産を開始しました。それ以来、中国のお客様に、汎用エンジンを中心に、刈刈機、耕うん機、発電機など、さまざまな暮らしを支える製品をお届けしてきました。2023年2月には、累計販売台数が2,000万台に到達する見込みです。

また 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、HPPC は中国において初の電動パワープロダクツ製品となる刈払機などの電動ハンドヘルド作業機[※]の販売を2022年12月に開始しました。今後も Honda は、中国で展開する二輪・四輪・パワープロダクツ全ての事業で電動化に取り組み、お客様の暮らしを豊かにする新価値の提供にチャレンジしていきます。

※手で持って使用し持ち運びが可能な、刈払い機やチェーンソーなどのパワープロダクツ製品を指す

■本田動力（中国）有限公司 総経理 鶴岡 圭介のコメント

「これまで私達を支えてくださったお客様、30年間ともに歩んできたお取引先、販売店、従業員、家族の皆様にご心から感謝申し上げます。今後も Honda は、新たな電動化製品を含む質の高いパワープロダクツ製品を通じ、お客様に『生活の可能性が広がる喜び』を提供してまいります」

■本田動力（中国）有限公司の歩み

- 1993年 1月 嘉陵－本田発動機有限公司設立※
- 2002年 8月 パワープロダクツの生産を開始（初生産機種は汎用エンジン GX160）
- 2011年 7月 嘉陵－本田発動機有限公司 研究開発センター設立
- 2015年 1月 初の中国開発製品「UMQ435」（刈払機）の生産を開始
- 2017年 4月 累計販売 1,000 万台を達成
- 2019年 12月 Honda が重慶嘉陵工業有限公司の持分株式を購入し
Honda100%出資／子会社となる
- 2020年 4月 累計販売 1,500 万台を達成
- 2020年 7月 本田動力（中国）有限公司に社名を変更
- 2022年 12月 中国初となる電動パワープロダクツ製品の販売を開始

※ 二輪エンジン・完成車の製造および販売を主な事業とする合併会社として設立

■本田動力（中国）有限公司 概要

設 立	1993年1月
所 在 地	中国 重慶市
代 表 者	総経理 鶴園 圭介
従 業 員 数	約 2,400 名
資 本 金	4,338 万 USD
事 業 内 容	パワープロダクツ製品の製造、販売、輸出
生 産 能 力	汎用エンジン 162 万台／完成機 44 万台／船外機 6 万台
生 産 モ デ ル	汎用エンジン（GX・GPシリーズなど） 完成機（芝刈機、刈払機、耕うん機、茶摘機、ポンプ、発電機など） 船外機